

2007年12月期中間決算説明資料



2007年12月期中間決算の概要

下半期の課題と対策

2007年12月期決算の見通し

■ ご参考資料

2007年12月期中間決算の概要

1. 連結損益計算書
2. 連結セグメント別損益
3. 連結貸借対照表
4. 連結有利子負債残高
5. 連結キャッシュフロー
6. 個別の概況について
7. 配当について

1. 連結損益計算書

単位：百万円

項目	07年度中間実績	06年度中間実績	増減
売上高	49,758	44,179	+5,579
営業利益	418	224	+194
経常利益	385	143	+242
特別損益	97	1,242	+1,339
当期損益	451	1,087	+1,538

前年同期比の主要増減要因

売上高： 米穀 +5,073 玄米販売等の増加
飼料 +325 糟糠類・穀類販売の増加

営業利益： 販管費の削減 226

経常利益： デリバティブ評価益 +19、支払利息 4

特別損益： 固定資産売却益 +139、投資有価証券評価損 36

2. 連結セグメント別損益

単位：百万円

項 目	07年度中間実績		06年度中間実績		増 減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
連結合計	49,758	418	44,179	224	+5,579	+194
米穀事業	41,702	640	36,628	621	+5,074	+19
鶏卵事業	3,306	71	3,244	57	+62	+14
食品事業	3,500	68	3,319	3	+181	+71
飼料事業	1,402	93	1,077	78	+325	+15
その他・消去	151	454	89	529	62	+75

3. 連結貸借対照表

単位：百万円

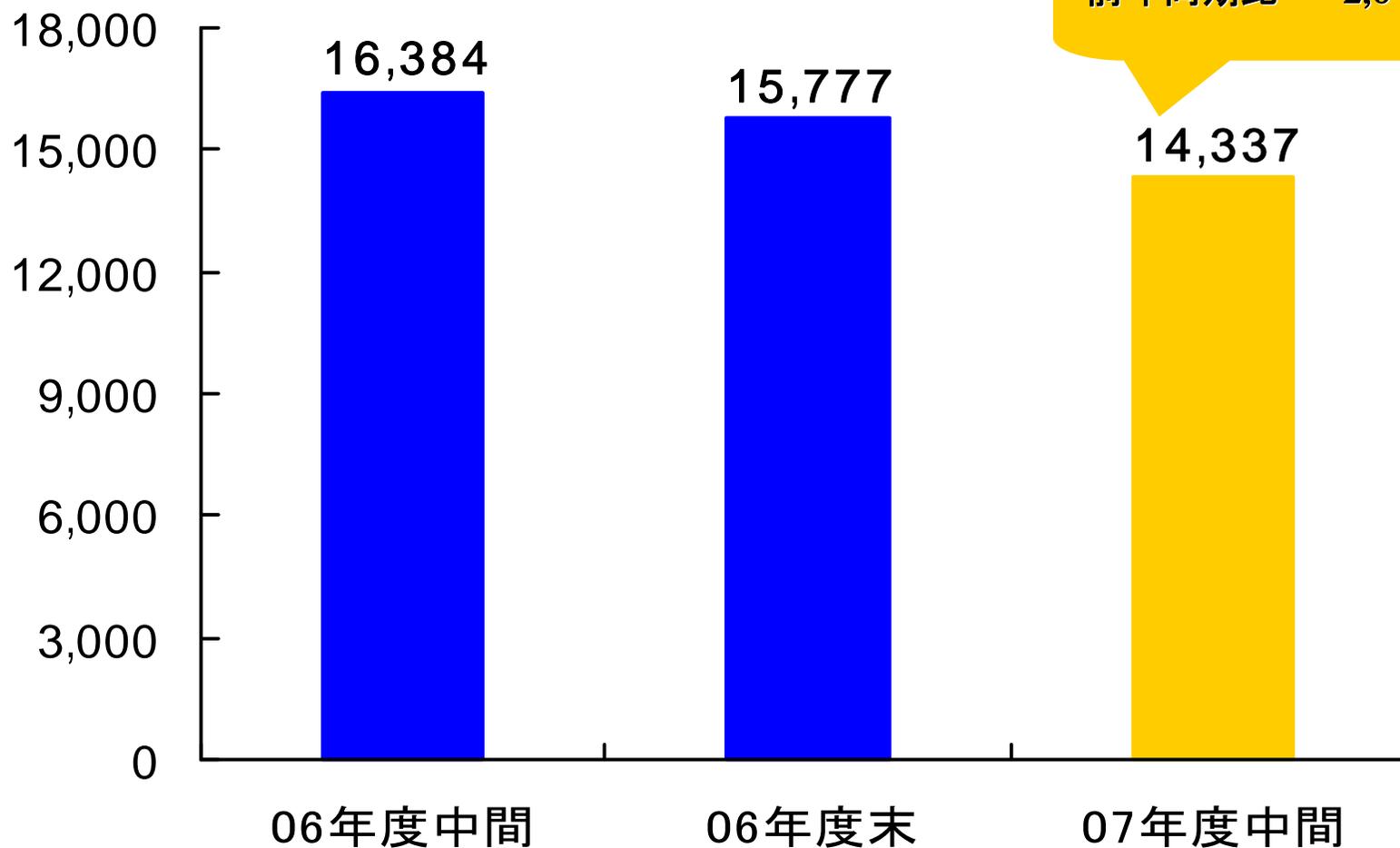
資産合計	07年度中間実績	06年度中間実績	増 減
連 結	24,884	25,220	336

項 目	07年度中間実績	06年度中間実績	注 記
流動資産	14,850	13,894	売掛金 +1,441(休日要因) たな卸資産 +198 未収入金 534
固定資産	10,034	11,326	土地売却 400 減損損失 260 減価償却費 345
流動負債	15,140	14,831	買掛金 +1,249(休日要因) 短期借入金等 1,225
固定負債	5,816	6,791	長期借入金 761
負債合計	20,956	21,622	
少数株主持分	424	415	
純資産合計	3,927	3,598	

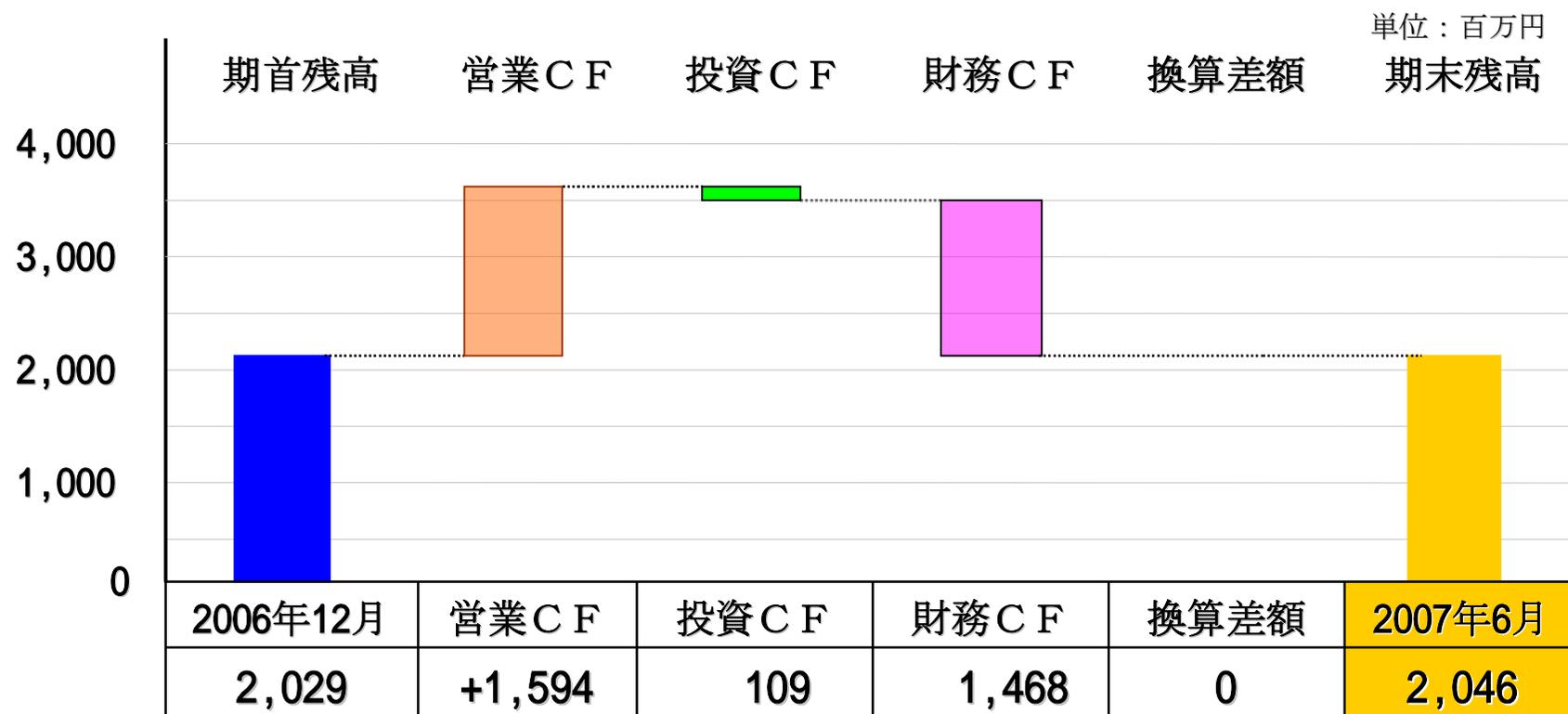
4. 連結有利子負債残高

連結有利子負債残高の推移

単位：百万円



5. 連結キャッシュフロー



営業C F : 減価償却費 345、売上債権 251、未収入金 247

投資C F : 設備投資額 314

財務C F : 短期借入金 +166、長期借入金 1,160、社債 530

6. 個別の概況について

単位：百万円

個別損益概況	07年度中間実績	06年度中間実績	増 減
売上高	38,628	32,967	+5,661
営業利益	340	314	+26
経常利益	293	256	+37
特別損益	22	1,104	+1,082
当期損益	271	860	+1,131

個別資産等の概況	07年度中間実績	06年度中間実績	増 減
流動資産	9,824	9,343	+481
固定資産	8,078	8,884	806
資産合計	17,902	18,227	325
流動負債	10,858	10,230	+628
固定負債	4,341	5,306	965
負債合計	15,199	15,536	337
純資産合計	2,703	2,690	+13
負債・純資産合計	17,902	18,227	325

7. 配当について

公表しました配当方針に従い、今中間期配当を1株につき2円とさせていただきます。

(参考：前年同中間期配当は1株につき1円でした。)

<利益配分方針について>

当社は、株主に対する利益還元の充実と安定的な経営基盤の確保に努めるとともに、内部留保の充実を目指し、安定的な配当の継続を業績に応じて維持することを基本方針としております。

下半期の課題と対策

1. 米穀事業の営業力・コスト競争力の強化
2. コメ加工食品関連商品の開発
3. グループ内の組織再編

1. 米穀事業の営業力・コスト競争力の強化 木徳神糧株式会社

営業力の強化

主力である米穀事業における主要取引先との関係強化を引き続き進めると共に、新規取引先の開拓に営業資源を集中的に投入していきます。

コスト競争力の強化

引き続き製造コストダウン、販売費及び一般管理費の削減を図り、生産効率及び事務の生産性を向上していきます。

2. コメ加工食品関連商品の開発

雑穀入り胚芽精米の販売拡大

健康志向の雑穀入り胚芽精米の販売拡大を積極的に進めます。

米粉の用途拡大

米粉は吸油抑制効果に着目した健康志向の商品を開発していきます。

米糠の活用

グループ精米工場から安定的に供給可能なフレッシュな米糠の食品への活用等、付加価値の拡大を図ります。

3. グループ内の組織再編

平成19年10月1日を期して当社100%出資の連結子会社である株式会社ライスピアを吸収合併します。

同社が保有する経営資源やノウハウとの融合によるシナジー効果を発揮し、製品開発力、営業力の強化並びに経営の効率化を目指します。

2007年12月期決算の見通し

1. 連結・単体損益見通し
2. 連結セグメント別損益見通し

1. 連結・単体損益見通し

単位：百万円

項 目		07年度見通し	06年度実績	増 減
売上高	連結	98,626	92,000	+6,626
	単体	78,047	68,545	+9,502
営業利益	連結	731	432	+299
	単体	635	466	+169
経常利益	連結	557	311	+246
	単体	491	332	+159
当期損益	連結	489	1,212	+1,701
	単体	750	1,103	+1,853

2. 連結セグメント別損益見通し

単位：百万円

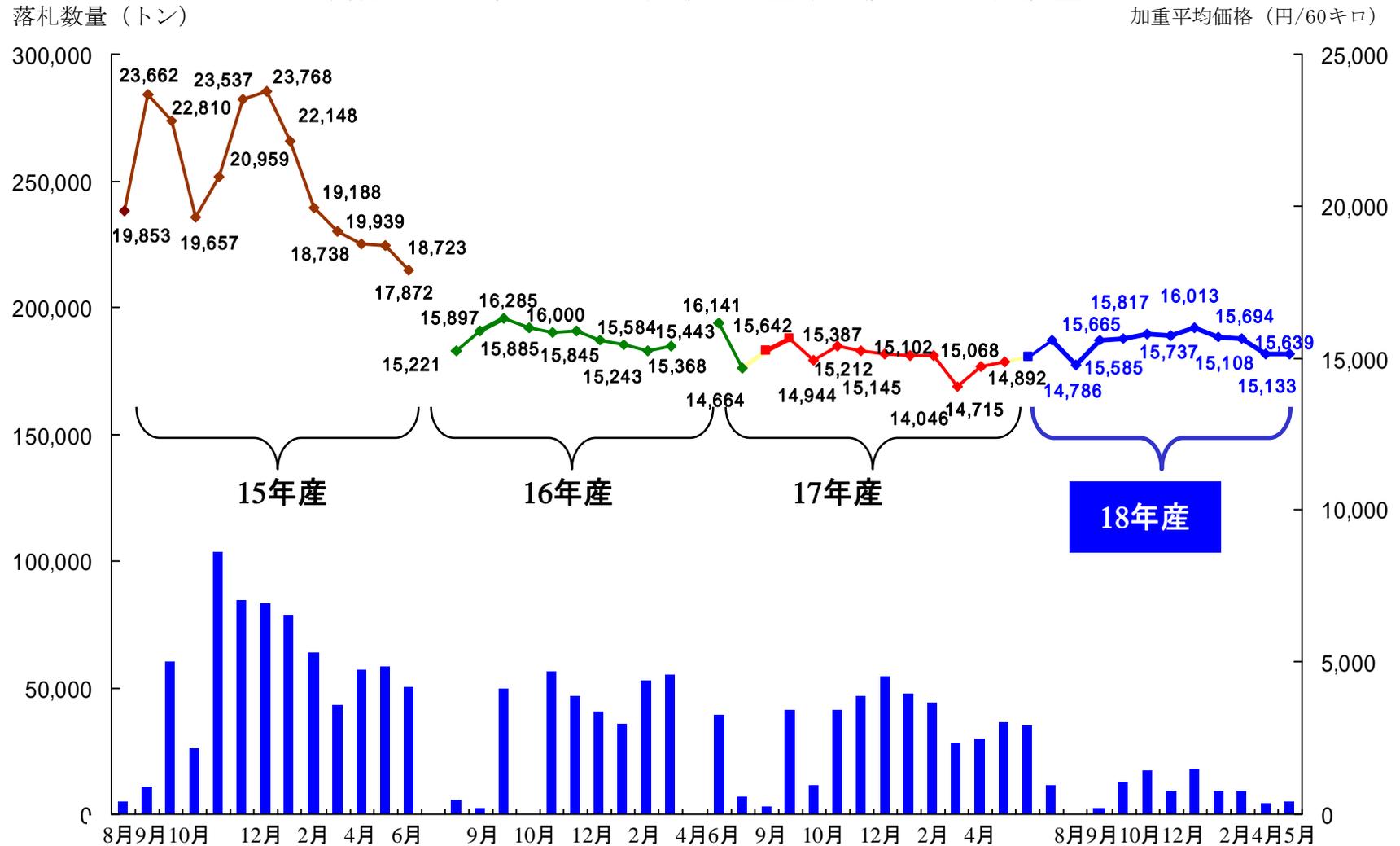
項 目	07年度見通し		06年度実績		増 減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
連結合計	98,626	731	92,000	432	+6,626	+299
米穀事業	82,113	1,247	76,214	1,135	+5,899	+112
鶏卵事業	6,605	147	6,730	119	125	+28
食品事業	7,275	90	6,929	61	+346	+29
飼料事業	2,702	183	2,294	159	+408	+24
その他・消去	69	936	167	1,042	+98	+106

ご参考資料

1. 米穀の平均価格と落札数量
2. 当社グループの対象範囲
3. 当社の株式及び株主の概況
4. お問い合わせ先

1. 米穀の平均価格と落札数量

平成15～18年産米の落札銘柄加重平均価格と落札数量



出典：コメ価格センター並びに米穀機構の資料を基に当社作成

2. 当社グループの対象範囲

連結子会社 12社

木徳九州（株）、（株）ライスピア、備前食糧（株）、一番保険サービス（株）
東洋キトクフーズ（株）、内外食品（株）、（有）茨城内外食品、
（有）共栄ファーム、関東内外食品事業（協）、（株）ジーシーフーズ、
アンジメックス・キトク合弁会社（ベトナム）、キトク・アメリカ会社

持分法適用関連会社 2社

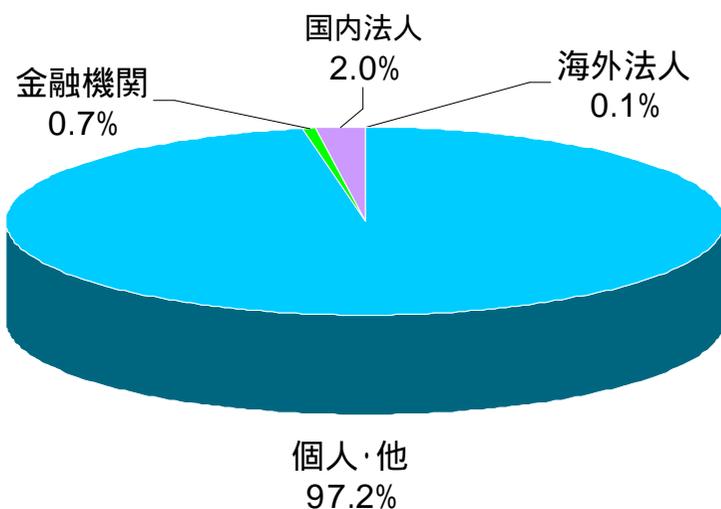
大連百農米業有限公司（中国）、株式会社神奈川トーヨー

3. 当社の株式及び株主の概況

株式概況

項目	07年度中間
発行済株式総数（千株）	8,530
株主総数（名）	1,602

所有者別構成



大株主（上位10名）

順位	氏名	07年度中間 所有株式数（千株）
1	木村謙三	405
2	木村良	322
3	三菱東京UFJ銀行	300
4	木村友二郎	243
5	稲垣辰彌	230
6	濱田精麦	218
7	水野正夫	212
8	従業員持株会	188
9	三井住友銀行	186
10	農林中央金庫	186

注：千株以下は切り捨てて表示しております。

4. お問い合わせ先

IRに関するお問い合わせ先

取締役執行役員 管理部門副部門長

伊豫田 直記 (いよだ なおき)

TEL : 03 -5636 -1501 FAX : 03 -5636 -1601
Email: n -iyoda@kitoku -shinryo.co.jp

本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等と異なる可能性があります。